

# 身近な川に親しみ 川のことを知る

# 水生生物調査の概要

水のごれ方により、そこにすんでいる生きものの種類は違います。「水生生物による水質調査」は、その性質を利用し、その川にすんでいる生きものの種類をしらべることで、その場所の水質を判定する調査です。水のごれぐあいをあらわす生きものを「指標生物」といいます。指標生物がどのくらいすんでいるかにより、有機物による水のごれ具合がわかり、その水質を4段階の水質階級で表します。

この調査は高価な機材などを必要としないことや、川で存分に楽しみながらたくさんの生きものがすんでいることへの驚きなども体感できることが特徴です。また、世界で1つの伊那谷の食文化を学ぶこともできます。



見たことのない生きものがたくさん！  
川にはたくさんの生きものがすんでいることを知る

生きものを調べて水質を知る



## 指標生物一覧（平成23年度一部見直し）

水のきれいさを教えてくれる生きものたちです。

川の水のごれ (水質ランク)	旧	新 (平成24年度から適用)	備考
きれいな水(Ⅰ)	1 ナミウズムシ	1 ナミウズムシ	
	2 サワガニ	2 サワガニ	
	3 ヒラタカゲロウ類	3 ヒラタカゲロウ類	
	4 カワゲラ類	4 カワゲラ類	
	5 ヘビトンボ類	5 ヘビトンボ類	
	6 ナガレトビケラ類	6 ナガレトビケラ類	
	7 ヤマトビケラ類	7 ヤマトビケラ類	
	8 ブユ類	8 ブユ類	
	9 アミカ類	9 アミカ類	
			10 ヨコエビ類
きれいな水(Ⅰ)～ ややきれいな水(Ⅱ) ※指標としない		1 ヒゲナガカワトビケラ類	新カテゴリー
		2 ニンギョウトツビケラ類	
		3 タニガワカゲロウ類	
		4 チラカゲロウ	
ややきれいな水(Ⅱ)	1 カワニナ類	1 カワニナ類	削除
	2 スジエビ	2	
	3 コオニヤンマ	3 コオニヤンマ	
	4 コガタシマトビケラ類	4 コガタシマトビケラ類	
	5 オオシマトビケラ	5 オオシマトビケラ	
	6 ヒラタドROMシ類	6 ヒラタドROMシ類	
	7 ゲンジボタル	7 ゲンジボタル	
きたない水(Ⅲ)	1 タニシ類	1 タニシ類	削除
	2 シマイシビル	2 シマイシビル	
	3 ミズムシ	3 ミズムシ	
	4 タイコウチ	4	
	5 ミズカマキリ	5 ミズカマキリ	
とてもきたない水(Ⅳ)	1 サカマキガイ	1 サカマキガイ	
	2 エラミミズ	2 エラミミズ	
	3 アメリカザリガニ	3 アメリカザリガニ	
	4 ユスリカ類	4 ユスリカ類	
	5 チョウバエ類	5 チョウバエ類	

今年度より指標生物の一部が変更となりました。これは、環境省において平成22～23年度にかけて有識者からなる「水生生物等による水域特性評価手法検討委員会」を設置し決定されたものです。

今までの指標生物は平成12年度以降10年間継承されてきましたが、以下の5点を考慮して見直しがされました。

- ①全国に広く分布する。
- ②指標性が高い。
- ③現場で種類が見分けやすい。
- ④なるべく生息数が多くてよく採れる。
- ⑤流れがあって礫があるような場所に生息している。
- ⑥なるべく大きくて見つけやすい。



きれいな水の代表  
「カワゲラ」



きたない水の代表  
「ミズムシ」